

令和5年度 農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された「農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2293号)第15の3の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した20地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が17地区、総合的に低調と認められる地区が3地区との評価結果となった。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。
また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた1地区について、重点指導の結果を評価した。

3. 各地区の評価結果

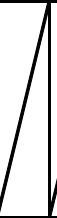
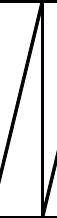
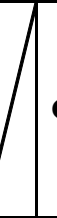
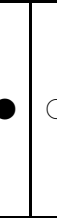
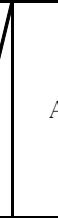
21件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
本省	滋賀県	湖南市	株式会社チャレンジファーム										令和4年度に事業は完了しているが、引き続きの重点指導対象となっており、今年度は昨年度の重点指導結果の報告のみ。
本省	滋賀県	守山市	株式会社フロリスト・コロナ			● ▼	● ▲	■ ▲				A	計画に基づく活動が実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 令和4年度まで単発的な出店型マルシェを実施していたが、マルシェの知名度やファンの定着が見受けられたことから、令和5年度からマルシェの店舗を常設化して販売を行っている。また、来店者に対して、守山市の農産物の特徴などを説明し、商品を販売することで、農業への理解醸成が十分に進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本省	東京都	中央区 台東区 調布市	合同会社GARP			●	●	■				A	計画に基づく活動が実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 農作業ボランティア団体等と連携し、東京都産野菜のPRを目的としたマルシェを継続的に開催することで、都市農業のファン及びリピーターの獲得につながり、都市農業者と都市住民の交流が深まり、都市農業への理解醸成が十分に進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。

本 省	愛 知 県	知 立 市	かきつ畑プロジェクト推進協議会			●	●	■			A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 知立市の学校周辺の農地にて、児童とその保護者を対象とした農作業体験(田植え体験、稲刈り体験等)の開催により、都市農業の魅力に十分に発信した。また、小中学生を対象とした通年の農作業体験(畑de学校)を開催し、地元住民に農業に対する理解醸成が十分に進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	滋 賀 県	栗 東 市	栗東農のある暮らし協議会			●	●	■			A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 未就学児・小学生などを対象とした栽培体験や都市農地での農業講座を開催したことにより、多世代にわたって都市農業に対する理解醸成が十分に進んだと思われる。 また、都市住民が気軽に農業を楽しむことができることをコンセプトとした農福連携の貸し農園を、目標前倒しで5件開設するなど、意欲的に事業に取り組んでいる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	大 阪 府		一般社団法人 大阪府農業会議			●	●	■			A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 府内の市町村、農業委員会、JA等の農業関係団体とのネットワークを生かした体制により、防災協力農地制度の導入に取り組む市町村からの情報収集や広報誌等による情報発信を積極的に行い、導入を検討する市町村や学識者との意見交換を実施することで、制度の普及・啓発につながり、府民への都市農業の防災機能への理解醸成が十分に進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	大 阪 府	南 河 内 郡	シンスリー株式会社			●	●	■ ▼	△		C	実施体制が事業実施に重大な支障を来しており、計画に基づく取組を実施することができなかったことから、総合的評価をCとした。 大阪府南河内地域の生産者の出店不参加が多く、計画に定めた参加型マルシェを開催することができず、当初の目標を達成することができなかった。 今後は事業計画に基づく目標の達成に向けて、効率的かつ円滑に事業が実施されることを期待したい。
本 省	福 岡 県	福 岡 市	株式会社Tryfe			●	●	■			A	計画に基づく活動がおおむね実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 都市農業者と都市住民が直接交流できる都市型マルシェ(福マルシェ)を福岡市内で開催し、農作物の販売だけでなく、子ども向けワークショップを開催することにより、多世代にわたって、都市農業の魅力に十分に発信できたと思われる。また、農業体験ツアーや栽培方法をレクチャーする生産者との交流会等を開催するなど、都市住民の農業への理解醸成も十分に進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。

本 省	大 阪 府	摂 津 市	大阪府摂津市				●	■			A	計画に基づく活動が実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 HPや広報誌を活用し、市内の防災協力農地に関する情報発信を行うことで、都市住民等へ防災機能の理解醸成が十分に進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	神 奈 川 県	小 田 原 市	合同会社 小田原かなごてファーム				●	●	□		A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 マルシェを小田原市で開催することにより、農業者と消費者との交流を図り、地元農作物の魅力を十分に発信できたと思われる。また、教育プログラムとして、農業体験や自然栽培塾等の実地研修を行うことにより地元住民に農業や環境意識に対する理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	神 奈 川 県	座 間 市	小田急電鉄株式会社				●	●	□		A	計画に基づく活動がおおむね実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 神奈川県座間市と連携し、参加市民の家庭の生ごみを堆肥化し、効率的に回収・運搬した上で市内の協力農家において農産物の栽培に活用することで、ごみの資源化・減量化が実現され、有機農業の普及につながったと思われる。また、参加市民を交えた説明会や交流会、終了の会を開催し、活発な意見交換や交流を行うことで都市農業への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	東 京 都	国 立 市 国 分 寺 市 三 鷹 市	株式会社エマリコくにたち				●	●	□		A	計画に基づく活動がおおむね実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 令和4年度に続き、一般市民を対象に援農ボランティアなど地元農業を応援する中間支援層の育成（消費者プログラム）、都市部で有機農業等を実践する農家の圃場実習（農業者プログラム）等を開催し、地域間での都市農業の維持に向けた活動を積極的に行った。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	東 京 都	千 代 田 区	一般財団法人 都市農地活用支援センター				●	●	□		A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 都市農業の先進事例を収集・分析の上、事例集を作成し、普及啓発活動をするためのシンポジウム等を実施した。事例集の配布先に対するアンケート結果についても、高い評価を得たことから都市農業への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	愛 知 県	日 進 市	日進畑の交流拠点づくり協議会					●	○	□	A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 都市住民に対し、有機野菜の栽培体験会及び摘み取り農園の野菜の収穫イベントを実施したことにより、都市農業への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。

本 省	福 島 県	郡 山 市	一般社団法人食大学					●	○	□	A	計画に基づく活動がおおむね実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 定期的にマルシェを実施することにより、農家と都市住民との交流の機会を創出し、都市農業への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	愛 知 県	知 立 市	特定非営利活動法人かきつ畑					● ▼	○ △	□	C	実施体制が十分でなく、事業実施に重大な支障を来しており、予定していた取組を実施することができなかったことから、総合的評価をCとした。 農業者と都市住民の交流の機会を創出したが、事務局において堆肥の保管設備が整わず、落ち葉等を活用した堆肥化事業が実施できなかったことから、当初の目標が達成できなかった。 今後は事業計画に基づく目標の達成に向けて、効率的かつ円滑に事業が実施されることを期待したい。
本 省	大 阪 府	和 泉 市	株式会社エムスクエア・ラボ					●	○	□	A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 マルシェの実施等により、都市農業者と都市住民の交流の機会を創出し、都市農業への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	東 京 都	江 東 区	農と親しみ江東区の共生社会を考える協議会					●	○	□	A	計画に基づく活動が十分に実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 都市中心部に農的空間を創出したことにより、都市住民の都市農業への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
本 省	東 京 都	日 野 市 国 立 市	株式会社ネイバーズファーム					● ▼	○ △	□	C	実施体制が整備され、計画に基づく活動が十分に実施されたものの、計画に定めた目標が達成できていないことから、総合的評価をCとした。 マルシェ等のイベントの実施により、都市農業者と都市住民の交流の機会創出を目指したが、当初の目標を達成することができなかった。 今後は事業計画に基づく目標の達成に向けて、効率的かつ円滑に事業が実施されることを期待したい。
本 省	大 阪 府	泉 南 市	一般社団法人グリーンカラー					●	○	□	A	計画に基づく活動がおおむね実施され、計画に定めた目標を全て達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 マルシェの開催及び情報発信を行ったことにより、多数の都市住民に都市農業や有機農業等への理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。

本 省	愛媛県	松 山 市 今 治 市	「生産緑地制度」に関する 共同研究会									A	計画に基づく活動がおおむね実施され、計画に定めた目標をおおむね達成しており、実施体制が整備されていることから、総合的評価をAとした。 愛媛県松山市・今治市を中心に、生産緑地制度の利用要件を満たす農業者に対し、利用意向のアンケート等を実施したことにより、当制度の理解醸成が進んだと思われる。 今後も事業計画に基づく取組が効率的かつ円滑に実施され、事業が発展することを期待したい。
-----	-----	----------------	-----------------------	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) ◇・・・目標年度(計画) ◆・・・目標年度(実施済)
重点指導 ▼・・・重点指導(通知) △・・・重点指導(結果報告予定) ▲・・・重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調 評価対象外・・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2293号)第15の4の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江靖雄(東京農業大学教授)

委員:市田知子(明治大学教授)、加藤由紀子(北海商科大学非常勤講師)、木村宏(北海道大学客員教授)、森久美子(作家・拓殖大学北海道短期大学客員教授)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和6年7月26日(金) 9:00～15:00 2 場 所 :農村振興局第5会議室(web会議併用) 3 出席委員:大江委員長、市田委員、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ① 令和6年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和5年度に事業を実施した20地区の、取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、 質疑応答を行った。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の、重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。 5 主な意見 事業実施主体ごとに目標値の設定方法が異なり、評価の公平性に欠けるため、基準を統一してはどうか。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和6年8月23日(金) 13:00～14:30 2 場 所 :農村振興局第5会議室(web会議) 3 出席委員:大江委員長、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和5年度に事業を実施した20地区の評価案等に関して、了承を得た。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して、了解を得た。 5 主な意見 なし

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要
滋賀県 湖南市	令和2年度	都市住民と共生する農業経営の実現を目指し、草津市にてマルシェを開催する。

※ 事業名や主たる取組名を記載すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

実施体制が事業実施に重大な支障を来しており、計画に基づく取組を実施することができなかったことから、総合的評価をCとした。
事務局担当者の病気の影響で、計画に定めたマルシェを開催することができず、また、代替担当者を準備することもままならない状況であったため、当初の目標を達成することができなかった。
今後は実施体制の見直しを行い、事業計画に基づく目標の達成に向けて、効率的かつ円滑に事業が実施されることを期待したい。

2. 低調と評価された要因

事務局担当者の病気の影響により、マルシェの開催は中止せざるを得なかったために都市農業者と都市住民の交流及び都市農業への理解醸成は計画通りには進んでいないと思われるため。

3. 目標達成に向けた方策

評価委員会での指導・助言等を踏まえ、目標の達成に向けて以下の取組を実施しました。
①9月、11月、2月に滋賀県草津市においてマルシェを計3回開催しました。
②内2回は事務局担当者と連携し、自家製品（玉子・はちみつ・ハニーマスタード）を販売しました。

4. 改善状況

令和5年度においては、9月(来場者数:35名)、11月(来場者数:45名)、2月(来場者数:55名)に関係者と連携して、マルシェを開催するなど取組の改善が図られている。
また、計3回のマルシェの中で、3名の障がい者が商品販売に参加するなど、社会復帰を目指す障がい者等が働ける場所を確保することで、農業と都市住民との共生に向けた取組が行われた。

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要
滋賀県 守山市	令和3年度	琵琶湖を保全するために実施する守山市の減農薬農業を都市部の人たちに知ってもらうとともに、マルシェを通じて、都市住民と守山市の農業者の交流を深め、都市農業への理解を醸成し、今後の守山市の農業振興に貢献する。

※ 事業名や主たる取組名を記載すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

計画に基づく取組が実施され、事業実施体制はおおむね整備されていたが、コロナ禍の影響もあり目標は達成できなかったため、総合的評価をCとした。マルシェでの販売時に地元農業の状況や農産物の特徴などを説明し、農業に対する理解醸成に取り組んだことは評価できる。しかし、マルシェの開催時に新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあったこともあり、来場者数が目標を大きく下回り、また、障がい者の雇用も見送るとするなど当初の目標を達成することができなかった。今後は事業計画に基づく目標の達成に向けて、効率的かつ円滑に事業が実施されることを期待したい。

2. 低調と評価された要因

マルシェを開催するも、コロナ禍の影響で来場者数が目標を大きく下回り、また、障がい者の雇用を見送ったことにより、都市農業と都市住民の交流及び都市農業への理解醸成は計画どおりには進んでいないと思われるため。

3. 目標達成に向けた方策

評価委員会での指導・助言等を踏まえ、目標の達成に向けて以下の取組みを実施しました。
①令和4年度まで実施していたマルシェを常設化し、継続的な顧客の獲得に努めました。
②障がい者を雇用するために、関係各所と人員確保に向けて協議を実施しました。

4. 改善状況

①令和4年度まで単発的な出店型マルシェを実施していましたが、マルシェの知名度の向上、ファンの定着や会場としていた百貨店からも常設の要望を受けたことから、令和5年度からは常設化して販売を行っている。今後は、常設の継続に向けて、さらなる顧客の獲得に努めていきたい。
②関係各所と障がい者の雇用に向けて協議を重ねたが、他の農福連携事業者にも人員を確保されたこともあり、雇用することができなかった。しかし、令和6年度に大阪府の就労施設と協議した結果、5名の雇用が決定したため、今後は雇用の継続に向けて取り組んでいきたい。